

第5学年国語科学習指導案

令和4年9月12日（月）5校時
世田谷区立松沢小学校
第5学年2組

1 単元名	文章の要旨をとらえ、自分の考えを発表しよう
教材名	「見立てる／言葉の意味が分かること」（光村図書 5年）

2 単元の目標

◎段落相互の関係や、文章全体の構成を捉え、要旨を把握することができる。

- ・原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。（知識及び技能（2）ア）
- ・文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。（思考力、判断力、表現力等 ア）
- ・粘り強く学習の見通しをもって、文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、自分の考えを発表しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）

3 単元の評価標準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。	・粘り強く学習の見通しをもって、文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、自分の考えを発表しようとしている。

4 単元について

（1）これまでの学習経験

本単元は、5年生になって初めて学習する説明的な文章である。4年生「思いやりのデザイン／アップヒルーズで伝える」では、筆者の考えは、文章の初めと終わりの両方で繰り返し述べられていることが多いことを学習している。「ウナギのなぞを追って」では、自分とは違う感想や考えに出会った時は、違いはどこから来ているのかや、他の人の感じ方の違いを考えると読んだ文章への理解が深まるなど学習してきた。

（2）本教材について

本単元のねらいは、要旨を捉えることである。第一教材「見立てる」と第二教材「言葉の意味が分かること」は、どちらも双括型の文章構成となっており、筆者の考えが、文章の冒頭と最後に示されている。また、その他の部分では、筆者の考えを読み手に納得させるための具体例が述べられているところも共通している。文章構成が共通した二つの教材で学習を繰り返し行うことで、自分の力で要旨を捉えることができようになり、主体的に読む児童を育てることができると考えた。

5 児童の実態

4月の文学的文章「名前つけてよ」で、読み取ったことを図表などでまとめる経験はしているが、文章の要旨を捉えてまとめる学習は初めてとなる。また、自分の考えを書くことに抵抗感や苦手意識をもっている児童も多い。そのため、第一教材や第二教材を通して、要旨を捉える学習を繰り返し行ったり、友達の考えからヒントを得て加筆修正する活動を設定したりすることで、意欲的に取り組むことができると考えた。

6 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説より（P36～39）

「読むこと」の指導事項 内容の（1）は、次のように構成している。

- 構造と内容の把握 叙述を基に、文章の構成や展開を捉えたり、内容を理解したりすること。
- 精査・解釈 文章の内容や形式に着目して読み、目的に応じて必要な情報を見付けることや、書かれていること、あるいは書かれていないことについて、具体的に想像することなど。
- 考え方の形成 文章の構造と内容を捉え、精査・解釈することを通して理解したことに基づいて、自分の既存の知識や様々な体験と結び付けて感想をもったり考えをまとめたりしていくこと。
- 共有 文章を読んで形成してきた自分の考えを表現し、互いの考えを認め合ったり、比較して違いに気付いたりすることを通して、自分の考えを広げていくこと。

「C 読むこと（説明的な文章）」領域の構成（1）指導事項

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
内容の把握	ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	ア 相互段落の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。	ア 事実と意見、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
精査・解釈	ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。	ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
考え方の形成	オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめるこ
共有	カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

■構造と系統【読むこと—説明的な文章】 光村図書 小学校国語 学習指導書

要旨を捉える 「見立てる／言葉の意味が分かること」	<ul style="list-style-type: none"> ○要旨につながる筆者の考えは、文章の初めや終わりに直接的に書いてあることが多い。 ○筆者の考え方やものの見方は、直接書かれている以外にも、次のようなところに表れているが多い。 <ul style="list-style-type: none"> ・どのような事例を挙げているのか。 ・どのような理由を述べているのか。 ・どのように考えを進めているのか。
<生活の中で読もう> 新聞の読み方 【新聞を読もう】	<ul style="list-style-type: none"> ○記事を読むときには、何について書かれているかを見出しやリード文から捉え、より詳しい情報を本文や図表から読み取る。 ○同じ話題でも、誰に向けて書かれているかや目的によって、記事の内容は異なる。知りたいことに合わせて、読む新聞や記事を選ぶ。

文章以外の資料を効果的に用いる「固有種が教えてくれること」	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの文章では、図表やグラフ、絵、写真などが説明に用いられることが多く、文章と対応させて読む必要がある。 ○図表などを用いることで、筆者は、伝えたいことを分かりやすく示したり、説得力をもって伝えたりしようとしている。
自分の考えを明確にし、伝え合う 「想像力のスイッチを入れよう」	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の知識や経験と重ねながら読む。 ○筆者の考えと事例が、どのように結び付いているかを整理しながら読む。 ○読んだ感想や考えを伝え合い、互いの感じ方の違いを明らかにすることで、新たなものの見方・考え方出会いができる。

7 研究主題に迫るための手立て (ユニバーサルデザインを意識した指導の工夫)

(1) 授業の流れを示す掲示物 (視覚化)

単元計画や1単位時間の授業の流れを提示することにより、見通しをもって学習に取り組むことができると考えた。また、児童自身が、学習活動を理解し、主体的に学習できるようにした。

(2) 言語活動 (焦点化)

本単元では、「文章の要旨をとらえ、自分の考えを発表しよう」という言語活動を設定した。第一教材「見立てる」と第二教材「言葉の意味が分かること」で文章の要旨を捉える活動を繰り返し行うことで、自分の力で要旨を捉えることができるようになると考えた。また要旨を読み取ることができるようになることで、筆者の考えをより明確に捉えることができ、筆者の考えに対する自分の考えをもちやすくなると考える。

(3) ワークシートの工夫 (焦点化)

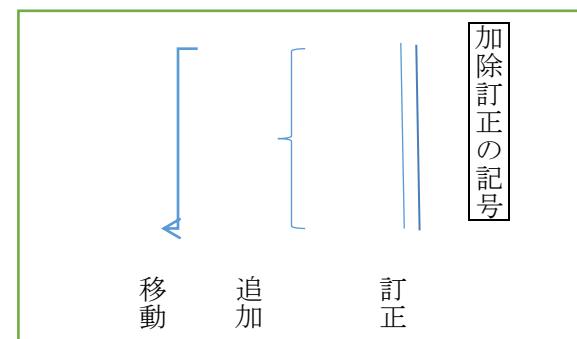
第2時では、「見立てる」の要旨を100字程度でまとめ、第5時では「言葉の意味が分かること」の要旨を150字程度でまとめる学習課題を設定した。筆者の主張と、事例の中の中心となる語や文を合わせると、指定の時数程度になるとを考えた。マス目の横に加筆修正用の行を付けたワークシートにまとめることで、友達の文を読んで加筆修正する際に、自分の書いたものを見直し、付け加えた過程が視覚的にも分かりやすいようにした。また、要旨をまとめためのチェックリストをワークシートに記載し、要旨をまとめ際のヒントとなるようにした。

(4) 語彙力や表現力を広げるうさ松の秘伝書の活用 (焦点化)

説明文の構成や要旨をまとめるときのポイント、接続語など、説明文を学習する上で基礎・基本となることをいつでも確認できるよう、うさ松の秘伝書を活用する。文章構成を確かめたり、重要な用語を確認したりする際には、うさ松の秘伝書を見て理解を確実にして進められるようにした。

(5) 個の学びが生かされる交流活動の工夫 (共有化)

文章の構成と内容をまとめたワークシート、要旨をまとめたワークシートなど、自分で取り組んだ課題はタブレットで撮影し、ロイロノート・スクールに提出する。提出したものを見合うようにすることで、一度にたくさんの友達と交流することができ、自分のワークシートへの加筆修正がしやすくなる。また、全体交流をするときにも、自分の手元で友達のワークシートを見る所以ができるので、共有しやすくなると考えた。文章の見直しをするときには、統一した記号を使って加筆修正するようにした。



8 学び方 *番号は、「うさ松の秘伝書」のページ

言語形式 様々な説明的な文章に活用できる読み方	言語内容 該当教材における特有の読み方
① 形式段落に分ける。(No.16)	① 形式段落は①～⑫に分かれれる。
② 説明文の文章構成を理解する。(No.14,17,46)	② 「 初め (形式段落①)」「 中1 (形式段落③～⑤)」「 中2 (形式段落⑥～⑦) (形式段落⑧～⑩)」「 終わり (形式段落⑪⑫)」で構成されている。
③ 筆者の主張は、初めや終わりの段落にある。 (No.25)	③ 「言葉の意味には広がりがある」 「言葉の意味を面として理解することが大切」
④ 大切な言葉（キーワード）(No.8)	④ それぞれの段落で繰り返し出てくる言葉 「広がり」「はんい」
⑤ 原因と結果(No.23)	⑤ 筆者の考えとの結び付きを分かりやすくする。 (結果)「歯をくちびるでふんじやつた。」 (原因) 覚えた言葉を、別の場面で使おうとして うまくいかなかつた。
⑥ 要旨(No.13)	⑥ 筆者が文章で取り上げている内容の中心となるこ とがらや、それについての筆者の考えの中心とな る事がら。
⑦ 要旨をまとめる。(No.13)	⑦ 決まった文字数でまとめる。初めと終わりの段落 に着目する。2つの文を1つにしたり、自分の言 葉に置き換えたりしてまとめる。
⑧ 交流する(No.45)	⑧ ロイロノートを使って、友達のまとめたものを見 て自分に必要なものを加筆修正する。
⑨ 加筆修正する(No.44)	⑨ 加筆修正の記号を使って自分の文章を見直す。

9 値付けの工夫

授業中では、「教師からの評価による価値付け」と「児童同士の交流による価値付け」があると考える。

教師からの評価による 価値付け	授業中の机間指導	各時間の学習のねらい（付けたい力）に沿った読み方が できている記述を見付け賞賛する。
	授業中の全体共有	各時間の学習のねらい（付けたい力）に沿った読み方・ 考え方ができている児童の記述や発言を取り上げ賞賛 する。
	評価	児童の書いた記述や発言から、学習のねらい（付けたい 力）に応じた評価（評価規準）を心掛ける。

教師から、児童の発言や記述を取り上げて称賛することによって、以下で示す児童同士の交流学習に自信をもつて臨めるようにする。

児童同士の交流による 価値付け	記述を見せ合う	交流することで、全体共有で価値付けした読み方・考 え方ができているかどうかを相互評価・自己評価する機会 とする。
	考えを伝え合う	着目した表現や構成などの根拠を明確にしながら、自分 の考えを伝え合う。

10 学習指導計画（6時間扱い）

次	時	学習活動	○指導内容	支援(◇)と評価(★)
一次 第一教材「見立てる」	1 (習得①)	「見立てる」を読み、文章構成をとらえよう。	<ul style="list-style-type: none"> ○「見立てる」という題名から、考えたことを発表する。 ○学習計画を立てる。 ○段落ごとの要点を見付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・中心となる語や中心文 ・具体的な例を述べている文ではなく、内容を大きくまとめているところ ・筆者の意見が書かれているところ ○文章構成を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> ・初め・中・終わり ・中には事例を挙げ、筆者の意見は、初めと終わりにあることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「見立てる」という説明文を読み、要旨をまとめる学習をするという見通しをもつこと。 ○学習計画を立てること。 ○段落の内容を簡単にまとめること。 ○観点に沿って、自分なりにまとめること。 ○文章構成を捉えること。 ○筆者の意見は、初めと終わりにあることが多い。 <ul style="list-style-type: none"> ◇教材への興味・関心が高まるようにする。 ◇秘伝書(⑬) ◇学習の見通しをもてるよう、児童と共に学習計画を立てる。 ◇秘伝書(⑩) ◇秘伝書(⑭) ◇本文を拡大し、文章全体の構成が視覚的に分かるようにする。
	2 (本時 (習得②))	「見立てる」の要旨をまとめよう。	<ul style="list-style-type: none"> ○要旨をまとめためのポイントとまとめ方を確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 【要旨をまとめためのポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ① 筆者の考えを見付ける。 ② キーワードを見付ける。 ③ 要点を基に考える。 【要旨のまとめ方】 <ul style="list-style-type: none"> ① 2文を1文にしてもよい。 ② キーワードを入れる。 ③ 自分の言葉に書き換える。 </div> ○要旨をまとめ。(100字程度) ○全体交流をし、自分の文章を加筆修正する。 ○学習を振り返り、次時の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○100字程度でまとめること。 ○初めと終わりの段落に着目すること。 ○繰り返し出てくる言葉（「見立てる」「想像力」「結び付ける」などのキーワード）を入れてまとめること。 ○2つの文を1つにしてもよいことや、自分の言葉に書き換える。とよいこと。 ○メモを書いてまとめること。 ○加筆修正の記号を使うこと。 <ul style="list-style-type: none"> ◇要旨をまとめためのポイントをうさ松の秘伝書(⑬)で確認できるようにする。 ◇繰り返し出てくる言葉に印を付けさせ、視覚的に分かるようにする。 ◇ロイロノートでまとめたものを提出し、多くの児童の作品が交流できるようにする。 ◇参考になる児童のまとめ方を価値付けることで、加筆修正に生かせるようにする。 <p style="text-align: right;">★文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。</p>

3 (活用①)	<p style="text-align: center;">要旨をとらえるために段落ごとの内容を確かめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習を振り返る。 ○段落ごとの要点を見付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・中心となる語や中心文 ・具体的な例を述べている文ではなく、内容を大きくまとめているところ ・筆者の意見が書かれているところ 	<ul style="list-style-type: none"> ○「見立てる」の学習を想起すること。 ○段落の内容を簡単にまとめるうこと。 ○観点に沿って、自分なりにまとめるうこと。 <p>◇自分なりにまとめられるよう、複数のワークシートから選択できるようにする。</p>
4 (活用②)	<p style="text-align: center;">文章構成をとらえよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文章構成を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> ・初め・中・終わり ・事例は中に、筆者の意見は、初めと終わりにあることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章構成を捉えること。 ○筆者の意見は、初めと終わりにあることが多い。 <p>◇秘伝書(46) ◇本文を拡大し、文章全体の構成が視覚的に分かるようにする。</p>
5 (活用③)	<p style="text-align: center;">筆者が一番伝えたいことを考え、要旨をまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○要旨をまとめためのポイントとまとめ方を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> 【要旨をまとめためのポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ① 筆者の考えを見付ける。 ② キーワードを見付ける。 ③ 要点を基に考える。 【要旨のまとめ方】 <ul style="list-style-type: none"> ① 2文を1文にしてもよい。 ② キーワードを入れる。 ③ 自分の言葉に書き換える。 ○本文の要旨をまとめること。(150字程度) ○全体交流をし、自分の文章を加筆修正する。 ○学習を振り返り、次時の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○要旨を150字以内でまとめること。 ○繰り返し出てくる言葉を入れてまとめること。 ○2つの文を1つにしてもよいことや、自分の言葉に書き換える。よいこと。 ○メモを書いてまとめること。 ○加筆修正の記号を使うこと。 <p>◇これまで学習した掲示物やうさ松の秘伝書で、ポイントが確認できるようにする。</p> <p>★文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。</p>

6 (発展)	<p style="text-align: center;">筆者の考え方や事例の示し方に対する自分の考え方をまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考え方をまとめる時に大事なことを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・共感・納得したところ ・疑問に思ったところ ○筆者の考え方や事例の示し方に対する自分の考え方をまとめること。 ○グループで交流する。 ○単元の振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考え方をまとめる時のポイントを確認すること。 ○自分の考え方をまとめること。 <p>◇教科書P55の資料を参考にし、自分の考え方をもてるようする。</p> <p>◇自分の考えがはつきりするよう、筆者の考え方を引用してまとめようする。</p> <p>★粘り強く学習の見通しをもって文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、自分の考え方を発表しようとしている。</p>
-----------	--	--

1.1 本時の指導（2／6時）

(1) 目標 筆者が一番伝えたかったことを考え、要旨をまとめることができる。

(2) 展開

学習活動	○指導内容	◇支援（全）…全体（個）…個別 ★評価
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	○学習を振り返り、めあてを確認すること。	◇掲示物でこれまでの学習を振り返るようにする。(全)
	筆者が一番伝えたいことを考え、要旨をまとめよう。	
2 要旨をまとめためのポイントと、まとめ方を確認する。 【要旨をまとめためのポイント】 ① 筆者の考えを見付ける。 ② キーワードを見付ける。 ③ 要点を基に考える。 【要旨のまとめ方】 ① 2文を1文にしてもよい。 ② キーワードを入れる。 ③ 自分の言葉に書き換える。	○要旨をまとめためのポイントと、まとめ方を確認すること。 ○100字程度でまとめること。 ○繰り返し出てくる言葉（「見立てる」「想像力」「結び付ける」などのキーワード）を入れてまとめること。	◇要旨をまとめためのポイントと、まとめ方を板書する。(全)
3 要旨をまとめること。 ・学習メモ → ワークシート	○学習メモを書き、要旨をまとめること。 ○まとめたものをロイロノートに提出すること。	◇ワークシートのメモ欄にキーワードなどを書いてから要旨をまとめるようにする。(全) ◇まとめることが難しい児童には、段落やキーワードに着目させたり、穴埋め式のワークシートを用意したりする。(個) ◇学級の友達のワークシートの中から、参考にしたいものを選び、加筆修正に役立てるようにする。
4 友達のワークシートを参考に、加筆修正する。	○要旨をまとめためのポイントやまとめ方の観点を基に、自分の文章を見直すこと。	◇交流後、さらに加筆修正する必要がある場合は直すようにする。(全)
5 全体で交流する。	○提示された友達の文章を基に、要旨をまとめためのポイントやまとめ方を確認すること。 ○自分のまとめたものを見直し、加筆修正すること。	◇参考になる児童のまとめ方や、友達の文章から加筆修正できた児童を抽出し、教師が価値付ける。(全)
6 自分の文章を見直し、加筆修正する。	○加筆修正したものをロイロノートに提出すること。	
7 学習を振り返り、次時の学習を確認する。	○本時を振り返り、次時の学習を確認すること。	★文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。

12 板書計画

	<p>構成図など</p>	<p>筆者が一番伝えたいことを割り、要領をまとめる 見立てる</p> <p>野口 廣</p> <p>学習の流れ</p> <ul style="list-style-type: none">・ めあての確認・ ポイントの確認・ 段落やキーワードの確認・ 要領をまとめる・ 交流 → 振り返り <p>要領をまとめるポイント</p> <ol style="list-style-type: none">① 筆者の意見を見付ける。② キーワードを入れる。③ 自分の言葉に書き換える。 <p>要領のまとめ方</p> <ol style="list-style-type: none">① 2文を1文にしてやる。② キーワードを入れる。③ 自分の言葉に書き換える。
--	--------------	---